

## 令和元年度 第1回柏原市総合教育会議議事録

日 時	令和元年 12 月 18 日(水) 午後 2 時から午後 2 時 45 分
場 所	柏原市立男女共同参画センター 会議室 (別館 3 階)
出 席 者	(柏原市総合教育会議構成員) ○市長 富宅 正浩 (議長) ○教育委員会教育長 新子 寿一 ○教育委員会教育長職務代理者 山崎 裕行 ○教育委員会委員 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子
欠 席 者	○なし
傍 聴 者	○1名
関 係 者	○副市長 松井 久尚 ○政策推進部長 市川 信行 ○政策推進部総合政策監 山口 智弘 ○教育部長 福島 潔 ○教育部教育監 岡本 泰典 ○健康福祉部長 石橋 敬三 ○教育部教育総務課長 寺川 款 ○教育部教育総務課課長補佐 栗田 聖子 ○教育部指導課長 石田 智 ○教育部学務課長 安田 典子 ○教育部文化財課長 安村 俊史
事 務 局	○政策推進部次長 小林 一裕 ○政策推進部企画調整課長 山本 直樹 ○政策推進部企画調整課主幹 野村 英晃
会 議 次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 龍田古道にかかる日本遺産認定について (2) 国分小学校と国分東小学校の統合について (3) 教員の働き方改革について (4) 防災教育について (5) ICT環境整備について (6) いじめ問題について (7) 児童生徒のSNS使用について (8) その他 4 閉会

## 議 事

<p>(事務局)</p>	<p><b>【1 開会】</b></p> <p>少し定刻より早うございますが、ただ今から、今年度の第1回柏原市総合教育会議を開催させていただきます。皆様には、ご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます柏原市政策推進部企画調整課の山本です。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきます。</p> <p>本日は委員の皆さま全員、ご出席いただいております。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条第4項にて規定しております開催要件、「市長及び教育長等のうち1名以上の出席による」を満たしておりますので、本会議が成立しておりますことをここで報告いたします。</p> <p>それでは、会議の開会にあたりまして、富宅市長よりごあいさつをお願い申し上げます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>【2 あいさつ】</b></p> <p>あらためまして、皆さん、こんにちは。</p> <p>今日は、令和元年度第1回総合教育会議を招集しましたところ、新子教育長をはじめ、教育委員の皆様にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>また、平素は柏原市の教育環境の充実のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。</p> <p>さて、令和という新しい時代が始まっておりまして、時代の変遷というのか、これからさらに大きく変化を遂げていくのかなと思っております。そういった中で、特に、子ども達を取り巻く環境は、少子化による児童生徒数の減少、「いじめ問題」や「IT化」など、本当に多岐にわたって、様々な課題が生じてくると思います。そういった中ですけれども、やはり教育委員会と行政というのは、今年の(話題の)フレーズ、「ワンチーム」として、しっかりと連携して、子ども達の未来のため、是非、一緒になって取組んでまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>そのためにも、本日、貴重なお時間をいただきお集まりいただいている委員の皆さまと意見交換を行い、この会議で教育施策の方向性を共有し、一致団結して様々な施策を進めていきたいと考えております。どうぞ、活発なご議論を賜りますようお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。</p> <p>本日はよろしく願いいたします。</p>

<p>(事務局)</p>	<p><b>【3 議事】</b></p> <p>それでは、次第3の「議事」に入らせていただきます。</p> <p>会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長が議長となります。</p> <p>ここからの会議の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>市長よろしくお願ひいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは、運営要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>先程も申し上げましたが、この総合教育会議は、私と教育委員の皆さまとの会議の場ですので、委員の皆さまからのたくさんのご意見をお聞かせいただけたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>議事に入る前に、事務局より傍聴に関する説明をお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>本日の傍聴希望者は、1名ございます。</p> <p>傍聴席は、10席を用意しており、10名にいたるまで傍聴が可能となっておりますが、傍聴希望者がございますことから、会議の傍聴を許可していただくということによろしいでしょうか。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは、傍聴の希望があるということで傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(教育委員から、「異議なし」の声があがる)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、それでは、傍聴を許可します。</p> <p>(傍聴者入場)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(1) 「龍田古道にかかる日本遺産認定について」</b></p> <p>はい、それでは、早速、会議を進めさせていただきます。まず、議事の(1)「龍田古道にかかる日本遺産認定について」であります。</p> <p>百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を機に、大阪を訪れる観光客の皆さんが本当に多くなってくると思われまます。</p> <p>そういった中で、歴史遺産に関連した盛り上がりを徐々に感じるわけですが、柏原市においても、市長部局と教育委員会が連携して龍田古道にかかる日本遺産認定に対する取組みを行っていますが、現在の状況をお聞かせ願えますか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>龍田古道についてですが、事務局の文化財課から、惜しくも令和元年度での認定はなかったと聞いており、改めて令和2年度の日本遺産の認定に向けて申請していくということでございます。</p> <p>認定結果につきましては、令和2年5月頃に発表予定となります。</p>

<p>(近藤委員)</p>	<p>日本遺産に認定された場合は、歴史、文化財の観点から、関係各課とともに様々な事業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>柏原市には日本でも珍しい貴重な古墳を含めた歴史遺産がありますね。堺市をはじめ、近隣自治体とも協力して、柏原市にも国内外から足を運んでくださるような施策に、より一層、取り組んでいただき、まちの活性化にもつながれば嬉しいです。</p> <p>世界遺産で有名になった百舌鳥・古市古墳群への観光客の人の流れを柏原市につないでいくうえでは、交通の便など難しい点もありますが、民間の協力を得るなど、工夫していただけたらと願っております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>堺市や羽曳野市、藤井寺市と連携をきっちりとさせていただきなから、現地ではなかなか上から見ることは難しいですが、柏原からは上から見るができますので、「世界遺産を見るなら柏原市」を推していきたいと思っておりますので、皆さんには引き続きご支援をお願いします。</p> <p>少し、視点を変えますが、日本書紀というものが最近注目されていますが、その中でも柏原に関する記述も多いと聞いておりますが、実際のところどうでしょうか。</p>
<p>(山崎委員)</p>	<p>市長がおっしゃられるように、日本書紀には、柏原に関する記述もたくさんあったと思います。</p> <p>以前に聞いたことがあります。来年、令和2年は、720年に日本書紀が成立しておりますから丁度1300年にあたる年だと思っております。</p> <p>学校現場にいるころも含めて、歴史資料館に何度も行きましたが、以前にも増して歴史資料館には、柏原市以外の小学生を含め、多くの来館者があり、一日に10校程度、来館されることもあります。</p> <p>職員も一日4、5回来館者の方々に向けて説明をすることもあり、大変人気のある施設となっております。</p> <p>その資料館でも、日本書紀の企画展などを行い、さらに多くの方々に柏原市に足を運んでいただくきっかけになればと思います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>来年が、1300年の年ということで、本当に、日本書紀であったり、万葉集などいろいろと注目されているところもございますので、是非、様々な企画を考えていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>歴史ファンが柏原市にたくさん来ていただくためには、広報活動にも力を入れていかなければならないと思っておりますし、大阪府だけでなく、是非、全国へと発信していただけたらと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>

	<p>私も、いろいろな所へ行きますので、その際にはいろいろと宣伝していますが、さらに、歴史的な観点を含めて頑張って宣伝してまいりたいと思いますので、今後詳細が決まりましたら教えていただきたいと思います。</p>
(富宅市長)	<p><b>(2) 国分小学校と国分東小学校の統合について</b></p> <p>それでは、次に議題 (2) の「国分小学校と国分東小学校の統合について」に移らせていただきたいと思います。</p> <p>平成 30 年度第 2 回の総合教育会議では、取組状況の報告を受けましたが、その後については、どのように進んできたのか、お聞かせいただきたいと思います。</p> <p>統合にあたり、この 12 月の市議会定例会でも条例案件と補正予算案件が審議されていますが、改めてお伺いいたします。</p>
(新子教育長)	<p>平成 31 年 4 月より有識者、学校、保護者、区長、議員による「通学区域審議会」を開催し、統合後の通学区域の変更を決定いたしました。</p> <p>審議会では、通学路の変更と安全性につきまして、活発な意見交換があり、いただいたご意見をもとに新たに通学路となる箇所を整備を都市政策課、柏原警察署とも連携して進めております。新たに通学路に指定される道路で、交通量の多い道路では、路面標示や路側帯の拡張、人通りの少ない道路には、防犯カメラを設置する準備を進めております。</p> <p>また、遠方より通学することになる児童については、市内循環バスの利用を考えております。</p> <p>循環バス運行担当の総務課や学校と調整を図り、登下校の安全確保に努めてまいりたいと思っております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。議会の方でも、このような説明をさせていただいたところでございまして、いよいよ統合の時期が迫ってきたのかなと思っております。</p> <p>国分小学校と国分東小学校の子ども達の様子が心配です。</p> <p>子ども達の様子をお聞かせいただけますか。</p> <p>また、保護者の不安を解消し、理解を得られるよう、どの様な取り組みが行われているのでしょうか。</p>
(新子教育長)	<p>国分小学校と国分東小学校の児童は、各学年でこれまで多くの交流を重ねてまいりました。</p> <p>国分小学校には国分東小学校児童用の教室が準備されており、学習したり、給食を食べたりしながら、国分小学校に慣れる環境も整えております。</p>

<p>(西村委員)</p>	<p>交流を重ねるにつれて、友達が増えることを楽しみにする声が児童からあがるようになってまいりました。</p> <p>保護者に対しましては、国分小学校の参観のご案内をしたり、支援学級の見学説明会を開催したり、国分小学校を知っていただく機会も積極的に設けております。</p> <p>P T A活動、健全育成会につきましては、社会教育課を中心に両校で調整を図り、整理した上で令和 2 年度からスムーズなスタートを切れる準備が整っております。</p> <p>今年の 10 月には、教育委員会で毎年度実施しております学校訪問で、国分東小学校を訪問してまいりました。</p> <p>校長先生、教頭先生をはじめ、教職員の方々は子ども達がスムーズに統合を迎えられるよう、現場で努力し工夫を重ねておられました。</p> <p>また、寂しく不安な思いをさせないような配慮をされていることも感じました。</p> <p>学校訪問時に会った子ども達も笑顔いっぱいであいさつをしてくれました。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>委員の皆さんも現場に行っていただき、ありがとうございます。</p> <p>子ども達がスムーズに令和 2 年度の統合を迎えられるよう、学校現場でも様々な取り組みが行われているということで、安心しました。</p> <p>実際に、来年度統合されてからの子ども達の様子も大事になってきますので、くれぐれも、保護者を始め、各種団体のお声もしっかりときける体制づくりを今後ともよろしくお願いします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(3) 教員の働き方改革について</b></p> <p>それでは、次の議事の(3)「教員の働き方改革について」に移らせていただきます。</p> <p>教員の方々には、日ごろから児童生徒のためにご尽力いただいている状況は理解しておりますが、教員の方々が心身ともに健康であることがまずは大前提であるというか、児童生徒のためにも良い環境を与えるという意味では必要不可欠であると考えております。</p> <p>現在、教育委員会で把握されている教員の働き方における問題点とかがあれば、お聞かせいただけますか。何かありますでしょうか。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>全国的に教員の欠員が深刻な問題となっておりますが、今年度、柏原市でも、年度途中の退職や病気による休職など、教員の欠員が相次いでおり、臨時講師を配置し、定数を保っているものの、この現状を危機的状況として教育委員会会議でも報告を受けたところでございます。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>国が示している働き方改革の整備を喫緊の課題としてとらえているところでございます。</p> <p>教育委員会といたしましても、迅速に、丁寧に進めてまいらなければならぬと考えております。</p> <p>教員の欠員によって、児童や生徒の授業が遅れたり、教員の授業の準備やテストの採点の時間が取れなくなるということはあってはいけないことだと思いますので、是非、気を配っていただきたいと思っております。</p> <p>教育委員会において、教員の働き方改革に関して、何か具体的に取り組んでいることはありますか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>昨年度より8月13日から15日までの三日間を学校閉庁日といたしました。2年目となる今年度は、大きな混乱もなく、大阪府内の実施状況と照らし合わせても、このまま順調に定着する見通しを持っております。また、9月に学校に導入いただきましたパソコンの校務支援システムを活用しながら、まず、勤務状況を正確に把握し、課題を明らかにした上で、業務改善を図る取組みを進めております。</p> <p>文部科学省より通知のあった部活動のあり方の徹底や留守番電話の導入など、事務局各課が連携し、教員が心身ともに健康で、子ども達と向き合う環境を整えてまいりたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>今後とも国の動向を注視しつつ、教育委員会においても、より一層、きめ細やかな現場教員の声を吸い上げていただき、少しでも働きやすい職場環境を整えていただくよう、よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(4) 防災教育について</b></p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議事の(4)「防災教育について」でございます。</p> <p>柏原市におきましては、災害時における危険から市民の皆さまを守るために、市民と行政の協働による防災施策に力を入れているところでございますが、教育委員会のほうでも、学校現場で平成29年度から防災ゲームを実施しておられますが、今年度につきましては、どのような状況であったのかお伺いいたします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>私も柏原東小学校にまいりましたが、本年度で3年目を迎えた体験型防災学習につきまして、9月に国分東小学校の4年生から6年生、10月には柏原東小学校で5年生を対象に行われ、合わせて約100名の児童が参加しました。震度7クラスの大地震が起きたという想定で、うす暗い教室と不安をかき立てるような効果音と、点滅する光の中、</p>

<p>(近藤委員)</p>	<p>子ども達は、「え、どれやどれや」といいながら右往左往し、正しいと思う行動やものを選びました。</p> <p>そして、3つのシーンを体感したのち、解説を聞き、個々の生存確率が書かれた認定証を受け取りました。ゲームを楽しみながらも、とっさの時に、自分ごととして考える良い機会となっておりました。</p> <p>教育委員会といたしましては、今後もこの体験型防災学習を継続し、まずは、全ての小学校で実施を完了させたいと考えております。</p> <p>今年10月の台風19号では、関東地方をはじめ、広い地域で記録的な大雨に見舞われました。</p> <p>また、多数の河川の堤防が決壊し、濁流が人やまちを飲み込んだ映像がテレビなどで報道されました。柏原市にも大和川が流れていて、決して他人事ではないと思いました。</p> <p>近頃の大雨は、大雨特別警報が発令されたり、激甚災害に指定されたりと、これまでの経験が活かされない、規模の大きなものも増えてきております。</p> <p>学校での防災教育も、そういった状況にも、常に対応できるものでなくてはならないと考え、変化といいますか、進化することが求められます。</p> <p>学校現場におきましては、常に新しい情報を得て、児童生徒に、繰り返し教えていくことで、防災力を身に付けていくものであると考えます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>全国的な地震による災害のほか、昨今の異常気象、本当に激しくなってきました。台風その他の集中豪雨による河川の氾濫、土砂災害など、あらゆる災害に対する備えが必要と考えております。</p> <p>委員がおっしゃったように、「前の時は大丈夫だった」とか「今度も何とかなるだろう」といったことは、通用しないということ、これが当たり前になってきているような状況です。是非、空振りになっても早めに避難することや、あるいは、命を守る行動が学校教育の現場にも求められると思います。</p> <p>各市でも避難訓練を始め、防災教育が盛んに実施されるようになっていきます。</p> <p>子ども達の命を災害から守るため、今後とも一層、児童生徒の防災学習には力を入れて取り組んでいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>



<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(5) ICT環境整備について</b>  それでは、次の議事(5)「ICT環境整備について」に移らせていただきます。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>次年度から小学校より本格実施になります学習指導要領におきまして、情報活用能力は、言語活動と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられております。柏原市の子ども達に、これからの時代を生きるために必要な力を身に付けるための環境整備、これが整っているのかお伺いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>今年の7月から8月にかけて、国分東小学校と桜坂小中学校を除く全ての市内小中学校のパソコン教室のパソコンを入れ替えました。パソコン内に、授業支援ソフトも備えており、視覚に訴える分かりやすい教材提示や次年度から始まる小学校のプログラミング教育にも対応できるようにしております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>先の市議会でも質問が出ていましたが、教員の側が授業において、機器を有効に活用できることも大事なことだと考えますが、教員に対しての対策は、十分なものとなっていますでしょうか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>教員が機器を有効に活用できるように、管理職や教員代表からなる2つの委員会を立ち上げ、先進市への視察をはじめ、実践の交流や研修を進めており、各校において授業支援ソフトの活用講習会も実施してきております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>その他に、先程の教員の働き方改革にも役立つ機能などもありますか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>本年度は、教員にも一人一台のパソコンを整備しています。同時に、校務支援システムも導入されており、これにより、事務作業の負担が軽減され、教員が子ども達に向き合う時間を確保できるよう、働き方改革の一環としての研究も進めていくよう指示しております。</p> <p>ICTの活用につきましては、先進市へ視察にも行ってまいりました。</p> <p>柏原市が今後どう進めていくのか、先進市の良いところを柏原方式に取り入れていくイメージが具体化されたところでございます。</p> <p>子どもたちがタブレットを用いて授業を受けることで、例えば、2時間の授業を1時間程度でできてしまうことが可能になったり、複数の子どもの意見が瞬時に吸い上げられ、クラス全員で共有できるなど、柏原市の学校でも活用できる環境準備を、国の動向を踏まえながら整えて行く予定でございます。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>先日も、私は、教育長とともに、文部科学省に要望書を提出してまいりました。丁度その前の週に、一人1台、国の方でパソコンを整備するというニュースが流れましたので、直ぐに誰かに会えないか文部科学省に問い合わせまして、萩生田文部科学大臣と藤原文部科学事務次官も同席いただき、「是非とも、前向きなところには支援していくつもりです」との言葉をいただきました。何とか、国の力添えを少しでも借りながら、やっていきたい、是非とも、柏原市でも補助が受けられるように進めていきたいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願いたします。</p> <p>柏原市では、「柏原市学校ICT環境整備計画」を策定し、整備を行っているところではありますが、国の方針に沿った計画となるよう、計画の見直しもお願いしたところでございます。</p> <p>今後とも、国の動向にも注目しながら、柏原市の学校教育にとりましてよりよい形でICT整備が進められますよう、お願いたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(6) いじめ問題について</b></p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議事の(6)「いじめ問題について」であります。</p> <p>いじめはどの学校でも、どの子どもにでも起こる可能性があるもので、特に慎重に対応していかなければならないと私自身も考えております。柏原市において、いじめの認知件数は、全国に比べてどのようになっているのかお伺いたします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>柏原市におけるいじめの認知件数は、平成29年度は、小学校においては全国に比べて低く、中学校においては高い値でありました。</p> <p>平成30年度については、小・中学校ともに前年度より減少し、全国平均よりも低い数値となっております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>これは本当に、数値で表すには難しい問題だと思います。実際に、見つけられている件数が多い方が逆に良いのかもしれないし、少ない方が逆にちゃんと見れていないのかもしれない、というところで、数値を聞きながら、なかなか難しいところがあるとは思いますが、しっかり取り組んでいていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>そして特に、いじめというものは多様化してきておまして、最近ではSNSを利用した、いじめ事案というものが全国的にも問題となっております。先日も、小学生が集団で多額のお金を要求するようないじめの事案も報道されており、非常に衝撃的なニュースでした。</p> <p>教育委員会としての適切な対応が求められると思っておりますが、いじめ対策としては、どの様に取り組んでおられるのかお伺いたします。</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>いじめ対策といたしましては、毎月学校から、いじめや嫌がらせととらえられるような件数や内容についての調査を行うほか、市独自で、年2回の児童・生徒を対象としたアンケート調査を各学校にて実施しております。</p> <p>まず学校は、回答内容の中で「早急に対応すべきことはないか」、また、「気になることはないか」などを確認した上で、教育委員会に提出し、その後、教育委員会にて分析し、他の学校や学年と数値が大きく異なるなど、注視すべき点などを伝えて、各学校に返却するようしております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いじめに対応する委員会も設置されてましたね。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>いじめ問題対応委員会がございます。</p> <p>会員の中には有識者も含まれており、助言を受け、各学校に指導もしております。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>いじめに関しましては、私も気になるところで、教育委員会会議でも報告を求めさせていただきました。学校の方では、とにかく担任の先生が個人で対応するのではなく、迅速に組織で対応するように取り組んでいるということでした。いじめ対応委員会も設置されており、活用もされております。ケースに応じて、子ども達に寄り添った慎重な対応を事務局には求めていきたいと思っておりますし、教育委員といたしましてもいじめ対策には、力を尽くして対応していきたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。是非、このいじめ問題というのは、本当に積極的に取り組んでいただきたいですし、多様化する中ですけれども、迅速な組織での対応により、速やかな解決に向けて、これが一番重要だと思いますので、いじめ撲滅に繋げていただきたいと考えております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>そして、不登校、これも非常に増えているということもありますので、早期に発見、対応することにより未然防止に努めていただきたいと思っております。</p> <p>そして、スクールカウンセラーの活用なども今後とも効果的に利用していただきたいと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(7) 児童生徒のSNS使用について</b></p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議事(7)「児童生徒のSNS使用について」であります。</p> <p>先日の新聞報道でもありましたが、大阪市の小学6年生の子がSNSを通じ、見知らぬ人と接点を持つ、その後事件化するという。</p> <p>その後も、同様の事件が相次いで報道されております。</p> <p>スマホを持つ小学生が3割を超えと言われる現在、悪意を持った大人に誘われ、被害に遭う事件が相次いでおります。</p> <p>教育委員の皆さまにお伺いしたいのですが、子どもがSNSを利用するにあたって、感じておられることが何かおありか、お聞かせいただきたいと思っております。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>まず、2年前になりますが、全国学力学習状況調査の調査部分で、小学校6年生、中学3年生に対して、「携帯電話、スマートフォンをどれくらい持っているのか」という項目の結果、柏原市の小中学生の結果が、全国の保持率よりも高かった。現在でも同じような事が考えられるのではないかと思います。子ども達は持っているということです。スマホに関しても、保護者からすれば、位置確認であったり、連絡ツールであったり、便利な部分もありますが、市長がおっしゃるように、SNS、これはたくさんございます。スカイプであったり、LINEであったり、新聞報道されるのは、SNSという一つのくりですので、どのSNSでということは報道されません。また、悪用されるというようなことで、子ども達から私が耳にしましたのは、LINEを活用すると、サインをすることもできるし、グループ化もできる、これが大きいじめの対象になる。こういった部分に対しまして、学校での指導というのが大事な部分であると思っております。今年度調査を行ったのですが、柏原市立桜坂小中学校を除きまして、小学校10校、中学校6校の内の15校において、既に、ドコモ・警察・KDDI・LINEトラブル・SNS利用方法等専門家による子ども達向けの講習会を開催してくれております。まず、持つ子どもがしっかりとその使用法・扱い方を分からなければ、犯罪に遭ってしまう部分もあるでしょうし、持たせる保護者が、あるいは身内の中で(SNSに)詳しい者が常に点検する、どう使っているのかというのをしっかりと確認していただければ、持つことは決して悪いことではないですが、使い方、使用の仕方を「家庭力」というか、そこの部分が非常に大きいと思っております。先程申し上げましたように、子ども達をしっかりと指導していく。学校でのトラブルというのは、比較的到学校から教育委員会に報告されます。子どもたちが持っている携帯電話やスマホの数からすれば、携帯電話を通じたトラブルはあまりありませんので、そういった意味では学校での講習・指導というのがある意味、</p>

<p>(山崎委員)</p>	<p>効いているのではないかと考えております。</p> <p>今のお父さんお母さんの中には、子育てのしんどさから、1歳2歳の幼児の時からスマホを使わせて、ユーチューブを見せたり、ゲームをさせている例があることを、私も見たり聞いたりしています。</p> <p>スマホを持つ子どもは、これからもどんどん増えていくと思いますし、柏原市の子ども達も例外ではないと思います。</p> <p>最近起こっている事件については、親の虐待や学校への不適応、友人間のいじめやトラブルなどで悩んでいる子どもがたくさんいること、それからそういった子どもの中には、SNSを使って見知らぬ人に「助けてほしい」とか「悩みを聞いてほしい」、「泊めてほしい」、「どこかへ連れて行ってほしい」などと、助けを求めることがあり、とても危険な状況になっていることが分かります。</p> <p>親や先生に相談したり、助けを求めたりできなくても、関係機関を含めて相談するところは、いろいろありますが、そこに相談しないでSNSにいつてしまうというのが、「今の子ども達の危うさ、厳しさの表れ」だと思います。</p> <p>そこで、今必要なことは、学校や地域、市役所や関係機関など、まわりの大人達が、こういった虐待や不適応、人間関係の厳しさに悩んでいる子ども達の発見に努めること。そして、見つけたらしっかり寄り添い、支え、育てていくことが、とても大切になっているのだと思います。</p> <p>私達大人が、本気でサポートしなければならない時代になっているのだと思います。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>子ども達がこのSNSによって危険な目に遭うというのは、SNSの便利な面だけを知っていて、危険な面への理解が不十分であるためと考えております。</p> <p>(先程山崎委員もおっしゃっていましたが) 現在、スマホを与えておけば一人で遊んでいるから良いという保護者も多いかと思えます。保護者の認識をしっかりとってもらうことが必要だと考えています。</p> <p>子ども達に対しては、家庭での指導に留まらず、また、学校での教育の必要性が高まっております。先程も教育長から報告されていましたが、すでに講習会が実施されていたかと思えますが、普段の学級活動、道徳、総合的な学習をはじめ、教育活動全般で、危機管理としての情報モラルやあるいは情報リテラシーを更に充実し、教えていくことが重要になってきております。</p> <p>これまでの子ども向けの講習会は(先程も報告がありましたように)されていますが、それを保護者も一緒になって、保護者研修という場も必要ではないかと考えております。</p>

<p>(近藤委員)</p>	<p>SNSの利便性と危険性の理解を子ども、保護者、そして、教員が共有することが必要であると考えております。</p> <p>今日のテーマで（読んでいたのですが）、「スマホに振り回される子スマホを使いこなす子」と、丁度、子育て中のママである姫路大学の女性の先生が書かれている本で、親の立場で書かれているものがありますので、参考にして、進めていけたらと思っております。</p> <p>スマホを使い始めた時から、知らない誰かとつながりを持って楽しんでいる世代にとっては、そういう人達と実際に会うことに対する抵抗は少なくなっています。</p> <p>その危険性を何度も教え、誘いに乗ることなく、踏み止まる力をつけてあげることが、大人の役割だと思っています。</p> <p>一方、アメリカでは、14歳まで、子どもにスマホを持たさない運動も起こってきています。スマホは一度持たせてしまうとやめるとするのは難しいです。</p> <p>学校では、危険性と同時に、小中学校の間は、「持っていなくても困らないよ」ということを保護者にも子どもにも教えて頂きたいと思っています。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>今、他の委員の先生方がおっしゃたように、メディアリテラシーの不足と子どもの未熟性や子どもの環境などの複数の要因が絡んでいると思います。</p> <p>SNSというのは気軽に個人が情報発信をすることもできて、コミュニケーションにおける利便性や多様性ももたらす、非常に便利なツールであると私も思います。</p> <p>当然、見えないからこそその危険性も確かにあると思います。</p> <p>現在の情報化社会の中では、だからといって、一律に悪者扱いするのではなくて、実際に使ってみながら、情報をどの様に送ればいいのか、どの様に正しい情報を受け取るにはどうすればいいのか、具体的に学んでいかなければならないと思います。そういったメディアに関する知識や技能、情報活用に関する教育が不可欠であって、いわゆるメディアリテラシー教育の実践を積極的に行っていく必要があると思っています。</p> <p>一方で、SNSはいわゆるツールにすぎず、根本には子どもの悩みや満たされない思いが外在化した結果であるように思っております。</p> <p>ですので、結局、インターネットやSNSに限った問題ではないかもしれないし、嫌といえることとか、気持ちを表現できることとか、相談できることなどのコミュニケーションスキルを育てていくことが大事ではないかと思っております。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>教育長、教育委員の皆さん、それぞれからご意見を頂戴しました。本当に、私も同じ考えで、まだ、成長過程にある子ども達というのは、気軽に情報発信ができると、顔の見えない相手と気軽に交流ができてしまうといった便利さの裏にある危険というのが認識できていない、あるいは、認識できていたとしても便利さのあまりというところもあると思います。</p> <p>子ども達には、是非、この危険性を伝え、これについて教えていくのは保護者であるし、周りにいる我々大人の責任だと思いますので、保護者の方はもちろんのことですが、学校や教育委員会、そして地域の皆さまを巻き込んでいただいて、そうした力を結集して、柏原の子ども達を守っていきたくと、改めて、思いを強くいたしました。</p> <p>大阪市内の小学校 6 年生の事件を聞いたときに、直ぐに教育長に聞きましたところ、柏原市では SNS に関する対処として、既に取り組んでいるということで、一安心したのですが、先程田中委員がおっしゃったように、保護者を入れて、更にそういった研修などをきっちりとする柏原市にしていく必要があるのかなと思いました。</p> <p>教育委員会として、これらの問題に前向きに取り組んでいただきますよう、よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p><b>(8) その他</b></p> <p>それでは最後になります、議事の (8) 「その他」についてですが、皆さま、何か案件等はございますか。</p> <p>★教育委員からは なし</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>私から 1 つ、お伺いさせていただきます。</p> <p>学力が上がってきているという話を聞いておりますが、そのあたりのお話をお願いできますでしょうか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>議会でも、岡本教育監が答弁いたしました。が、そもそも全国学力学習状況調査といいますが、ゆとり教育の成果を一定どの水準であるかを確かめてみるというのが初まりで、順位づけと言うか、どちらかと言えば、数字に左右されている部分があるのですが、やはり、柏原市の場合、5 年間経験した間、小学校 6 年生と中学校 3 年生、同一人物で、同一学校で、比較しながら、常に、調査が終わった段階で、教育委員会がそれぞれの学校におります学力推進委員が、管理職とともに P D C A サイクルを活用しながら、弱点といいますが、それぞれの学校で取り組まなければならない課題をしっかりと積み上げてきた成果が、徐々にですが、表れてきたのではないかと考えております。</p>

	<p>ただ、全国的にはそれぞれの事情というのがございまして、それぞれの課題に、それぞれの進め方は大きくは変わらないと思いますが、学力向上に向けて取り組んでいます。その中で、本市の各学校において、それぞれ努力した成果が表れてきたものであると思っております。</p>
(富宅市長)	<p>是非、我々の世代というのは、教育環境というものを求めて移り住んで来られる方も中にはおられると思いますので、「柏原市は教育環境が良いな」と思ってもらえるように評価を押し上げていただきたい。(教育環境が)一つの指標として見る方もおられると思いますので、是非、力を入れて取り組んでいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>では、最後に事務局より何かありますでしょうか。</p>
(事務局)	<p><b>【その他・会議日程について】</b>  今後の会議日程について、お伺いさせていただきます。  事務局と教育委員会事務局とで協議いたしました結果、今後につきましては、定例会といたしまして、予算編成時期に開催させていただき、それ以外に、ご審議いただく議題がある際に開催させていただきたいと考えております。  従いまして、今年度につきましては、審議案件が無ければ、今回の会議を最終の会議とさせていただきますと思っております。  来年度の開催については、定例会の会議以外に、ご審議いただく案件が生じた際に、改めて開催の日程調整をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>ただいまの事務局からの提案に対しまして、何かご意見ございますか。</p> <p>★特になし</p>
(富宅市長)	<p>特に、ご意見がなければ、今後、開催が必要となった際に、事務局の方からあらためて日程の調整をさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p>
(富宅市長)	<p><b>【4 閉会】</b>  本日の議事は、以上をもって全て終了となりました。  本日はこれにて閉会とさせていただきます。  年末のお忙しい中、本当にありがとうございました。</p>